元気もらった！泉北新歓フェスタ
キーワードは　三つのわくわく

４月９日、泉北新歓フェスタを開催しました。毎年恒例のミニレク講座（鶴山台北小、宮下先生）で、からだと心をウォーミングアップ。講演は、相愛大学教員の甲斐真知子先生でした。「希望の授業づくり～さぁ新学期！３つのわくわくで子どもたちも先生も元気に」のタイトルでお話を聞きました。

子どものことを知ろう！

年度初めに大事なことは、「4月中が学級開き」「意気込みすぎない」「子どもたちをあせらさない」こと。授業は、３つのわくわく（授業前、授業中、授業後）で、先生も子どもも生き生き元気な学級に。

講演する甲斐真知子さん

わくわくする授業は、

・「今日、この授業をしよう」と先生がわくわくしている授業。

・クラスの子どものことを知っている先生の手づくりの授業。

・どの子も自分の居場所がある授業。

など、失敗しながら自分で授業をつくることの大切さを教えていただきました。

【参加者の感想】

◇甲斐先生のお話は、実践から出た本物の話でした。形を大切にするのではなく、子どもと先生の考え方、心情を大切にする生きた授業が真の学びを生み出すことがよく分かりました。

◇自分が「最初の３日間」に意気込みすぎてたかな…と気づくことができました。「〇〇しないと」「〇〇もしとかな」と、自分でガチガチになっていたので、ちゃんと「すきま」を作っておこうと思います。

◇いろいろ考えすぎていたんだなと、ホッとしました。でも、もっと深く考えなくては!!と考えるきっかけもいただきました。昨年1年間のベースは、絵本の読み聞かせだったので、今年はプラスαで何かやっていこうとやる気が出ました。

ミニレク　じゃんけんゲーム「馬場チョップ」

◇ミニレクで教えてもらったゲームは、子どもといっしょに自分も楽しめるものだなあと思いました。実践していきたいと思います。

甲斐先生のお話からは、自分がわくわくすることをしていきたいと改めて思いました。

◇昨年度、初めて授業をして、いろいろな壁に当たりました。生徒とぶつかりあったこともあって、授業がそのクラスだけ嫌になったりしました。今年度、新しい環境になりましたが、今日の授業づくりで学ばせてもらったことをもとに頑張っていきたいです。「授業のわくわく」を３つ感じていきたいです。

０（ゼロ）回答を押し返し、差額支給されました！

一時金引き上げ０．１ヶ月分

３月30日に一時金の差額支給がありました。昨年末の府労組連闘争で一旦は「前進回答なし」に傾いた情勢を押し返し、「一時金の０・１ヶ月分引き上げ」を勝ち取って収束しました。

私たちが「人勧実施は府当局の最低限の責任」と終始主張したのに対し、府知事のみが道理のない「財政状況」を理由に最後まで難色を示したのは極めて不当であり断じて許せません。

今回支給された差額は、夏のボーナス引き上げ分０・０５ヶ月分と冬のボーナス引き上げ分０・０５ヶ月分の合計０・１ヶ月分です。

「差額」は３年連続の支給で、組合で闘ってこその貴重な成果です。「組合がなければ賃上げは実現しない」ことの証明でもあります。

賃上げなどの要求を実現するため、組合の加入を心からお願いします。